

20221013 後期始業式校長の話

全校の皆さん、おはようございます。

誰一人として 交通事故などに遭うことなく

こうして皆さんと会うことができたことを うれしく思います。

後期を始めるにあたって、2つのお話をします。

1つ目のお話です。さて、この言葉の意味が分かりますか。

「すもうをとる」これはどう？

どういう意味分かるよ。説明できそうですよという人は手を挙げてください。

「出前をとる」どう？「ぼうしをとる」これはわかる？手を下ろしてください。

4年生の国語の時間に「わかりません」と質問があった言葉だそうです。

わからないことをわからないと言える教室は素敵です。

恥ずかしがらずにわからないことを出し合うことから

学び合いを始められると楽しい。学ぶ楽しさがあります。

今日から始まる後期には、わからないと安心してと言える教室で

ここまではわかった。でもここからがわからないと言える皆さんに

なってほしいと願っています。

2つめのお話は、2年生と6年生の男の子のことです。

二人は、登下校の時、マスクを外しています。ですから私と会って私が

おはよう、さようならと言っても、目を合わせてニッコリ頭を下げるだけです。

すごいでしょ。自分で考えて行動している。立派な姿だと思います。

まだ、コロナは続きそうです。マスクをしたり、手洗い消毒をしたり、換気に気を付けたりと、

これからも続けることになりましたが、自分で考えて行動する。

この姿を私たちは大事にしたいと思います。

以上2つのお話をしました。相手を思い、自分から行動して

やさしくたのもしいきわっこの姿

たくさん見せてください。私の話は以上です。